

第5期 雄武町総合計画 後期実施計画書 兼 事務事業評価調書

様式1

No. 08010030

政策目標	2	めぐもり・雄武～保健・医療・福祉の充実～	会計区分	1	一般会計	【全体計画内容】※後期実施計画期間外の計画期間を有する場合のみ記載
基本施策	8	子育て・子育ての充実	事業優先度	B		
単位施策	2	「子育て」支援の強化	政策事務分類	2 単独自治事務(個別計画)		
事業名	一時預かり事業		見直し年度			
事業期間	平成25年度～平成29年度		担当課	8 保育所		
事業主体	雄武町		関係課	#N/A		
事業指標	利用延べ人数		ハード/ソフト 事業区分	2 ソフト事業		
事業目標	年間350人		関係例規・法令名	有 雄武町一時預かり事業実施要綱		
住民参加	無		関係個別計画名	有 雄武町子ども・子育て支援事業計画		
住民協働						

全体計画 事業内容		平成 25 年度 事業内容	平成 26 年度 事業内容	平成 27 年度 事業内容	平成 28 年度 事業内容	平成 29 年度 事業内容
計 画 内 容	緊急時における保育対応	一時預かりの受入れ	一時預かりの受入れ	一時預かりの受入れ	一時預かりの受入れ	一時預かりの受入れ
	事業費(千円)	5,000	1,000	1,000	1,000	1,000
計 画 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	1,083	200	133	250	250
	道支出金	750			250	250
	地方債	0				
	その他	1,950	600	600	250	250
実 績 事 業 費	財源内訳					
	国庫支出金	480		140	250	90
	道支出金	650	170	140	250	90
	地方債	0				
	その他	1,076	147	264	457	208
	一般財源	695	76	143	372	104
関 連 事 項	特定財源の名称		(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)	(実施内容等)
	一時預かり使用料 子育て支援対策事業補助金(H25) 保育緊急確保事業費補助金(H26) 地域子ども・子育て支援事業交付金 (H27～H29)	【評価・実績】	一時預かり保育実施 (延べ人数 102人)	一時預かり保育実施 (延べ人数 165人)	一時預かり保育実施 (延べ人数 264人)	一時預かり保育実施 (延べ人数 184人)
			※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 B-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持	※事務事業評価結果 A-継続/現状維持
	前期計画からの継続 (継続有り)	年度目標値	年間350人	年間350人	年間350人	年間350人
	第6期計画への継続 (継続有り)	年度達成率	39%	69%	133%	49%
	全体達成率	8%	22%	48%	58%	
	備考欄					

事業名	一時預かり事業	評価者 管理職 職氏名	保育所長	大水 麻理
		評価者 作成者 職氏名	児童保育係	斎藤 智美

■事務事業の目的・内容(Plan・Do)

【誰、何が(対象)】	就学前児童	望ましい指標(目的達成状況を最も端的に表す理論上の成果指標)	利用人数
【抱える課題やニーズは】	核家族化が進み、一時的に子どもを預けられる環境が減少している。	指標(指標計算式/解説)	目標値及び実績値
【どのような状態になることを目指したのか(意図)】	保護者の緊急時に一時的に子どもを受入れることができる支援。また、育児疲れ等による保護者の心的、身体的負担軽減を図る。	① 年間利用延べ人数	目標年度 平成28年度
【その結果、どのような成果を実現したいか】 ※成果=目的	保育環境及び専属の人員を配置した安全なスペースでの預かりを実施し乳幼児を持つ保護者の子育て環境を維持する。		目標値 350人
【内容(どのような手段で何を行ったか)】	一時的な保育所受け入れ	保護者の緊急的な所用、不定期な就労、通院、疾病により子どもの保育ができない場合、保護者の育児支援のために一時的に受け入れをする。	実績値 184人
			達成度 52.6%
			②
			目標年度 平成28年度
			目標値
			実績値
			達成度 #DIV/0!%

■事務事業の評価(Check)

(1)事務事業の必要性(町民ニーズ、社会情勢に照らして妥当か、町が担う必要があるか。当該事業を実施しない場合の支障、既存事業との機能重複や見直しによる対応可能性)

必要	<input checked="" type="checkbox"/>	義務的なもの	保育規則、一時預かり事業実施要綱により、本町の子育て支援政策の一環として実施している。核家族化が進む現代では緊急時、一時的に子どもを預けられる環境が乏しいため本事業の実施は必要である。
必要/概ね必要	<input checked="" type="checkbox"/>	全部	
課題あり	<input type="checkbox"/>	一部	

(2)事務事業の有効性(期待する効果が得られたか)

有効	<input checked="" type="checkbox"/>	設定した目標値の達成状況	ニーズ量は年度により変動し、今年度は前年に比べ利用者数は減少したが、職員の配置等受け入れ体制を整え申し込み全てに対応し、保護者の育児援助につながった。
有効/概ね有効	<input type="checkbox"/>	達成	
課題あり	<input type="checkbox"/>	ほぼ達成	
	<input type="checkbox"/>	下回る	

(3)事務事業の効率性(コストに見合った効果が得られたか、計画上のコストを下げる工夫をしたか)

効率的	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	保育所内に一時預かり室を完備し受け入れを行っており代替保育士の人的確保、予算措置等効率的に対応できた。
効率的/概ね効率的	<input type="checkbox"/>	事業費抑制	
課題あり	<input type="checkbox"/>	人員削減	
	<input type="checkbox"/>	時間短縮・作業軽減	
	<input checked="" type="checkbox"/>	その他	

(4)事務事業の公平性

公平	<input checked="" type="checkbox"/>	判断の理由	保育所入所要件を満たさない家庭においても一時的な預かりに対応する。利用料は時間や食事の有無で区分し設定しているため負担割合は公平である。
公平/概ね公平	<input type="checkbox"/>	受益者負担がある	
課題あり	<input type="checkbox"/>	受益者負担がない	
	<input type="checkbox"/>	受益が一部に偏る	
	<input type="checkbox"/>	その他	

■その他特記事項(アンケート調査など外部評価を受けた場合は、その旨記入)

■総合評価【A~D】

- A:計画通り事業が進んでいる。目標が達成された。今後も計画通り事業を進めることが適当 等
- B:ほぼ計画どおりに進んでいるが目標を達成していない。事業の進め方に改善が必要 等
- C:当初の計画を達成できていない。事業規模、内容、実施主体等の見直しが必要 等
- D:事業効果が表れていない。事業の統合、休・廃止の検討が必要 等

自己評価(一次評価)	評価会議評価(二次評価)	町長評価(三次評価)
A		
子育て支援対策として不可欠な事業であり、昨年度より利用者数は減少したが、短期就労、通院、学校行事等での利用が多かった。一時預かりに対応できる機関は他にないため、保護者の育児負担軽減に貢献している。		

今後の展開方向
(Action)

継続/現状維持		
利用者数に変動はあるものの子育て支援には必要不可欠な事業である。制度周知を充実させ保護者の多様なニーズに対応できるよう受け入れ体制を整えて今後も事業を進めていきたい。		

- ※展開方向の区分
- 継続/現状維持又は拡充又は縮小又は統合又は内容の見直し・変更
 - 終了 ○休止 ○廃止